

線形計画

3

次の線形計画問題 (P) を考える .

$$(P) : \begin{array}{ll} \text{maximize} & \mathbf{c}^\top \mathbf{x} \\ \text{subject to} & \mathbf{A}^\top \mathbf{x} \leq \mathbf{b} \end{array}$$

ただし , \mathbf{A} は $n \times m$ 係数行列 , \mathbf{b} は m 次元係数ベクトル , \mathbf{c} は n 次元係数ベクトル , \mathbf{x} は n 次元変数ベクトルである . ベクトルはすべて列ベクトルとし , $^\top$ は転置を表す . さらに , $m > n$ かつ $\text{rank } \mathbf{A} = n$ と仮定する . 問題 (P) の双対問題は次のように書ける .

$$(D) : \begin{array}{ll} \text{minimize} & \mathbf{b}^\top \mathbf{y} \\ \text{subject to} & \mathbf{A}\mathbf{y} = \mathbf{c} \\ & \mathbf{y} \geq \mathbf{0} \end{array}$$

以下の問 (i) – (iii) に答えよ .

- (i) 問題 (P) の最適解の集合を S と書く . 集合 S は凸集合であることを示せ .
- (ii) 集合 S が有界でないときには , S に属する任意のベクトル \mathbf{x} に対して

$$\mathbf{x} + \alpha \mathbf{v} \in S \quad \text{for all } \alpha > 0$$

となるような $\mathbf{0}$ でないベクトル \mathbf{v} が存在することが知られている . この性質を用いて , 集合 S が有界でないならば

$$\mathbf{c}^\top \mathbf{v} = 0, \quad \mathbf{A}^\top \mathbf{v} \leq \mathbf{0}$$

を満たすベクトル $\mathbf{v} \neq \mathbf{0}$ が存在することを示せ .

- (iii) 問題 (D) において

$$\mathbf{A}\mathbf{y} = \mathbf{c}, \quad \mathbf{y} > \mathbf{0}$$

を満たす実行可能解が存在するならば , 集合 S は有界であることを示せ . ただし , $\mathbf{y} > \mathbf{0}$ はベクトル \mathbf{y} のすべての成分が正であることを表す .